

# 令和4年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名

加古川市立平荘小学校

## 1 教育目標

自ら学び続ける心豊かな平荘っ子の育成 一人間尊重の教育を基盤にすえてー

## 2 基本方針

- よく考える子           力を合わせる かしこい 平荘っ子
- 思いやりのある子   力を合わせる やさしい 平荘っ子
- たくましい子         力を合わせる 明るく、元気な平荘っ子

## 3 指導目標

1. 基礎基本をしっかり身につけさせます
2. 自分の生き方、在り方を考えることができるようにします
3. 健康な体をつくります
4. 教師は、豊かな人間性と指導力の向上を目指して業務改善及び自己研鑽に努めます
5. 家庭や地域との連携を図り、開かれた学校にします

### 評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋道を立てて考える力の育成に努める。</li> <li>・伝え合う力の育成を図る。</li> <li>・基礎的・基本的な力の定着を図る。</li> <li>・協同的探究学習を核に、「わかる学力」の育成を図る。</li> </ul>	B	ICT機器(タブレット等)を活用しながら思考を深める授業研究を行う。聞く力の育成に努め、伝え合う力の伸長に努める。継続して協同的探究学習を推進する。図書館教育の充実を図る。
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育の充実を図る。</li> <li>・人権を大切にした教育を充実させる。</li> <li>・自主的・実践的な力の育成を図る。</li> </ul>	B	ローテーション授業を取り入れ、道徳教育の充実を図る。さん付け運動や挨拶運動に力を入れる。児童会活動を中心に、児童の自主的・実践的な活動の推進を行う。
健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な体力づくりの推進を図る。</li> <li>・安全指導の推進を図る。</li> <li>・健康を増進する指導に努める。</li> </ul>	A	継続的に縄跳び運動を行い体力作りの推進を図る。リスクマネジメントを意識しながら、計画的に避難訓練を実施し、日頃から安全教育や防災教育の推進に努める。
教職員としての使命の自覚と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通じた指導力の向上に努める。</li> <li>・個に応じたきめ細やかな指導に努める。</li> <li>・児童の内面に寄り添う生徒指導に努める。</li> <li>・人権感覚を磨き、コンプライアンスの推進に努める。</li> </ul>	B	授業研究や研修を計画的に行い、指導力の向上を図る。OJTを活用しながら、授業研究の充実を図る。報告・連絡・相談の徹底を行いチームとして対応する。
地域総がかりの教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の情報発信の充実を図る。</li> <li>・「地域とともにある学校づくり」の推進を図る。</li> <li>・地域や外部指導者の協力による学習の推進を図る。</li> </ul>	A	情報配信を積極的に行い、学校・家庭・地域が連携して児童の育成に関わる。両荘みらい学園へスムーズな移行ができるよう地域やユニットとの情報共有を積極的に行い、協体制の構築に努める。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
自分の考えや思いを相手にわかるように伝えることは難しいことだが、聴く力が身につけてきているので伝え合う楽しさや自分の思いが伝わる喜びが益々感じられるとよいと思う。図書室が魅力的だ。本を通じた教育も充実している。今後も、ICTの活用について、様々な取り組みを積極的に展開してほしい。	B
様々な角度からの取り組みを工夫され、子どもたちの心が豊かになっている様子が伺える。『命の一本松プロジェクト』は素晴らしい取り組みだ。児童会を中心にあいさつ運動が日常的になっている。朝のあいさつで、子どもたちと地域とのつながりを感じている。道徳のローテーション授業も引き続き実施してほしい。	A
明確な目標のもと防災教育が実践され、成果が出ている。適切な評価である。日常的な体力づくりとして縄跳び運動等の推進が図られている。登校班では、毎朝、安全に気を配りながら登校ができています。学校だけでなく、地域も一緒に危機管理を行う必要性を感じている。	A
少人数の学校であることを生かして、細やかな指導ができています。教職員が、一人一人の児童を大切に思い育てていこうと努力している。今後も、豊かな人間性と指導力の向上を目指し、自己研鑽に努めてほしい。教職員の一致団結は大切だと思う。	B
毎週の学校だよりで学校の様子がとてもよくわかり、効果的だ。家庭や地域への情報発信が細かくされているので安心できる。狂言学習や米作り等学校支援ボランティアと連携しながら、家庭や地域の力を十分活用し一体となって子どものために協力できている。引き続き、両荘みらい学園開校に向けて、取り組んでいってほしい。	A